

項目	内容
名称	ピペリン [英]Piperine [学名]-
概要	<p>ピペリンは、コショウ属の植物に広く分布するピリジナルカロイドの一つで、黒コショウ (Piper nigrum) の辛味の主成分であり、酸分解によりピペリン酸とピペリジンになる。カレー粉の香辛料として使用されるヒハツ (Piper longum) にも含まれる。</p>
法規・制度	<p>■ <b>食薬区分</b>  「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・分子量285.34、C17H19NO3。黒コショウに6~9%、ヒハツに4~6%含まれる(32)。</p>
分析法	<p>・市販製品中のピペリンを超高速液体クロマトグラフィー (UHPLC) にて分析した報告がある (2012261577) 。</p>
有効性	
ヒトでの評価	<p>循環器・呼吸器  調べた文献の中に見当たらない。</p>
の	<p>消化系・肝臓  調べた文献の中に見当たらない。</p>
価	<p>糖尿病・内分泌  調べた文献の中に見当たらない。</p>

生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(32) 生化学辞典 第4版 東京化学同人</p> <p>(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (2012261577) 千葉県衛生研究所年報 . 2010;(59):70-3.  <a href="#">(PMID:9331976) Biol Pharm Bull. 1997 Sep;20(9):958-61.</a>  <a href="#">(PMID:28459658) J Pharm Pharm Sci. 2017;20:28-37.</a>  <a href="#">(PMID:27821437) Drug Metab Dispos. 2017 Jan;45(1):49-55.</a>  <a href="#">(PMID:23707768) Toxicol Appl Pharmacol. 2013 Oct 1;272(1):96-107.</a>  <a href="#">(PMID:22753154) Arzneimittelforschung. 2012 Aug;62(8):384-8.</a>  <a href="#">(PMID:22029226) Arzneimittelforschung. 2011;61(9):506-9.</a>  <a href="#">(PMID:20118549) Biol. Pharm. Bull. 2010;33(2):255-259.</a>  <a href="#">(PMID:12130727) J Pharmacol Exp Ther. 2002 Aug;302(2):645-50.</a>  <a href="#">(PMID:9619120) Planta Med. 1998 May;64(4):353-6.</a>  <a href="#">(PMID:11808866) Eur J Drug Metab Pharmacokinet. 2001;26(4):241-7.</a>  <a href="#">(PMID:3444866) Planta Med. 1987 Dec;53(6):568-9.</a>  <a href="#">(PMID:20492299) J Food Sci. 2010 Apr;75(3):H93-6.</a>  <a href="#">(PMID:19283724) Phytother Res. 2009 Sep;23(9):1281-6.</a>  <a href="#">(PMID:27981349) Eur J Clin Pharmacol. 2017 Mar;73(3):343-349.</a>  <a href="#">(PMID:33434916) J Chromatogr Sci. 2021 Mar 19;59(4):371-380.</a></p> <p>(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)</p>